

研究所だより

第376号
2017年 7月 7日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“松原遠く 消ゆるところ 白帆の影は浮かぶ
干網浜に高くして かもめは低く 波に飛び
見よ 昼の海 見よ 昼の海”
「海」 童謡・唱歌 (1915年)



～そろそろ梅雨明けかな？～

最高の天気にも恵まれた7月2日(日)、竜串桜浜で恒例の海開きが行われました。暦の上では、7日は小暑。「この日から『暑中』に入り、暑さが日増しに加わり、梅雨明け前のため台風に見舞われることも多い」と言われています。奄美、沖縄地方では、既に梅雨が明けています。昨年の高知県の梅雨明けは18日でしたので、そろそろ梅雨明け宣言を期待したいところですね。

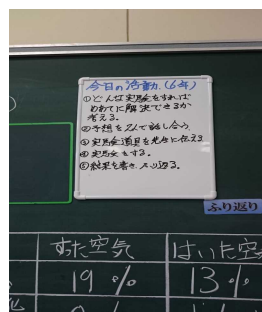
各学校では、学期末を迎え、まとめ学習やテスト等で多忙な日々をお過ごしのことと思います。健康に留意してお過ごしください。

研究協力校：中浜小学校・下ノ加江小学校の取組

研究協力校である中浜小学校では、研究主題を「基礎的・基本的な学習内容や学習習慣を身につけ、主体的に学ぶ子どもの育成～複式授業形態を生かした学び合い(とも学び)学習の取り組みを通して～」とし、「一人学び」「とも学び」を通して子どもがより主体的に協働的に学ぶことができるような授業研究を毎回講師を招聘した公開授業・校内研修という形で市内小中にも発信しながら進めています。少人数複式だからこそできる柔軟なカリキュラム編成(カリキュラムマネジメント)に取り組み、教科担任制(専門性を生かす)にするなどの研究組織を整えることや、教科間の横断的な単元計画等の作成にも取り組んでいます。

同じく研究協力校である下ノ加江小学校では、研究主題を「主体的・対話的で深い学びによる学力の向上～複式授業の工夫・改善～」とし、複式授業の改善に向けた研究に取り組んでいます。8月9日(水)には、公開授業(3・4年生)と田中元康先生(高知大学附属小学校)をお迎えし「複式授業の進め方」と題して講演会が開催されます。夏季休業中ですので是非多くの先生方に参加していただきたいと思っております。(詳細は各校に配信されている6/27付けの案内をご覧ください)

今回は、6月7日(水)の第1回研究授業「理科」の様子をご紹介します。



「今日の活動6年」
(授業の流れ)



「5, 6年生の活動」



「研究授業の振り返り」

～あすなろネットワークの取組～

過日、第1回(5/23)、第2回(6/29)教育支援コーディネーター連絡協議会(あすなろネットワーク)を開催しました。

第1回は、弘田生涯学習課長(前教育センター長)を講師にお招きし、アイスブレイクの一つとして誰にでもできるバルーンアートについて講話・実技講習をしていただきました。全員でバルーンアートに挑戦し作品を仕上げました。このスキルは、子どもとの最初の出会い等の取組で活用できると思います。



↑「弘田生涯学習課長によるバルーンアート実演と演習」

第2回は、小笠原 悠さん(NPO法人若者就労支援センターつながるネット)をお招きし、「支援・関わりの連携について」と題して講話とグループワークを行いました。講話では、先ず始めに「つながるねっとの活動」について、「若者の働く準備と働き続けるお手伝いをする就労支援機関」で相談内容は様々ですと話されました。その後は3班に分かれ、班別研修に移りました。最初はアイスブレイクの要素のある活動「十円玉の表裏の図柄を書いてみましょう」に取り組みました。いざ描くとなるとなかなか思い出せないものです。初めは個々が一生懸命思い出して描いていましたが、途中からは班員と相談しながらなんとか描き終えました。最後は実際に十円玉と見比べ、それぞれが確認しました。10分程度の活動でしたが和気藹々とできたように思います。その後は本題の事例研修に入りました。小笠原さんから事例の提示があり、その事例について話し合っ、考えてほしい内容として

- ①「気になること、もっと知りたいこと」
- ②「情報を持っていそうな人、施設、機関名」
- ③「今後必要な支援、関わり、キーパーソン」

の3点について各班で話し合い、付箋に意見を書き、模造紙に貼っていきました。限られた時間の中でしたが、それぞれの所属の先生方が意見を出し合い、まとめていきました。そして、最後に各班の発表を聞き合いました。ファシリテーターの重要性も垣間見ることもできました。発表された内容は各職場でも活用できるものであったと思います。

第3回あすなろネットワークは、再度講師に小笠原さんをお迎えし、8月29日に開催する予定です。



「小笠原先生の講話とグループ別協議」



「楽しく、真剣に、和気藹々と協議」



↑「各班の発表」↓



『はた若者サポートステーション(NPO法人若者就労支援センターつながるネット)』
 お問い合わせ先：四万十市具同田黒1-10-5 Tel:0880-34-9100
 代表理事・相談員：小笠原 悠さん

<外国語教育コア・エリア実践研究指定事業>

○「外国語教育コア・エリア実践研究指定事業」連絡協議会
 日時：8月 4日(金) 13:00~17:00
 会場：高知会館
 対象：推進会議委員(小中学校管理職、英語教育担当者)
 (詳細については別途配信のご案内をご覧ください)

○第3回外国語教育コア・エリア推進会議
 日時：8月28日(月) 13:30~
 会場：教育センター
 講師：長崎 政浩 教授(高知工科大学)
 内容：
 ・講話
 ・授業力チェックシートの分析
 ・意識調査の分析
 ・取組の中間検証



<購入書籍・DVD等の紹介> ~ご利用をお待ちしています~

☆書籍

○「発達の気になる子の学習・運動が楽しくなるビジョントレーニング」
 学習や日常生活において苦手や困難を感じる子どものなかには、視覚能力(見る力)に問題を抱えている場合があります。この見る力を向上させるのが「ビジョントレーニング」です。本書では、学校や家庭で手軽にできるトレーニングを豊富に紹介しています。

○「コグトレみる・きく・想像するための認知機能強化トレーニング」
 コグトレとは、認知機能の5つの要素(記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断)に対応する「覚える」「教える」「写す」「見つける」「想像する」力を伸ばすための、紙と鉛筆を使ってできるトレーニングです。本書では、コグトレの使い方や効果的な進め方、学校現場やご家庭でできる認知機能の弱い子どもを見つけるスクリーニング検査、効果検証などを紹介しています。

○ソーシャルスキルトレーニング絵カード

- ・「1日の生活絵カード」
 平均的な小学生の1日を絵にしています。今、自分がしている事、すべき行動を意識化させると共に、1日の流れに見通しを持たせたいというのがこの教材の意図です。
- ・「連続絵カードA」場面と認知と予測の対処
- ・「連続絵カードB」時間的、空間的な文脈の中での場面や相手の気持ちの認知
- ・「連続絵カードC」社会的な常識と許される範囲での行動の認知
- ・「連続絵カードD」場面の把握と分析と対処
- ・「状況認知絵カード①」「状況認知絵カード④」
 その場の状況と自分の持っている他の情報と関連付けて読み取ることを意図した絵カード

○新教育課程ライブラリⅡVol.6

「新学習指導要領で学校の日常が変わる」

